

館山市 令和4年度公共交通事業計画案

事業名称	具体的内容	公共交通網形成計画への位置づけ	予算要求額(千円)
市街地循環バス実証運行 【市街地における回遊性の向上】	令和2年度、3年度に短期間の実証運行を行ったが、その中で利用状況を概ね把握することができた。この結果を基に、本格運行につなげるための検証を行うことを主な目的として、1年間の実証運行を実施し、通年での需要を把握する。 また、費用面等においても持続可能な形態を模索するため、過去2回の利用状況から、北エリアを基本に、南総文化ホール及び移転開院する館山病院を加えたルートとし、便数も絞りながら運行したいと考えている。 【運行計画案概要】 ・期間：R4.6～R5.5の1年間 ・運行エリア：カインズ・イオン等の北エリアに南総文化ホール・館山病院（移転後）を加える（詳細は資料3別紙を参照） ・運行便数：1日6便予定 ・運行形態：路線バス形式（定時・定路線型）による運行 ・運行曜日：水曜日、1月1日運休（週6日） ・運用台数：1台 ・車両：小型バス車両（車長7m程度） ・委託先：バス事業者 一般競争入札にて委託事業者を選定する	施策の方向性1：市街地内及び地域間をつなぐ公共交通の機能強化 市街地循環バスの導入と既存バス路線の見直し	20,000
平群線（三芳地区）の再編 AIデマンド交通の実証 【隣接自治体との広域的な連携の推進】 南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業	令和3年度の実証結果を踏まえ、三芳地区並びに館野・九重地区の一部を含めたエリアにおいて、AIオンデマンドシステムを活用したフルデマンドバスの実証を行う。運行エリアが広範囲に及び、集落も点在しているため、AIオンデマンドシステムを導入し、少ない台数（2台想定）で効率的な運行を行えるかを検証する。 【運行計画案】 ・期間：R4.10～R5.3の半年間 ・運行エリア：上記のとおり（館山駅・イオン等の目的地は降車専用としてポイントを設定し、対象エリアとの行き来を可能とする） ・運行形態：フルデマンド型 予約に応じ、あらかじめ設定されたポイント（ゴミ収集箇所レベル）まで迎えに行き、利用者が希望する降車ポイントまで送り届ける仕組み ・運行曜日：週5日予定 ・運用台数：2台予定 ・車両：ハイエース（11人乗り）以下を予定 ・委託先：タクシー事業者を予定 ・システム：プロポーザル審査による導入	施策の方向性3：南房総市と一体となった公共交通ネットワークの機能強化 平群線・丸線の見直し	7,567 （館山市負担予定額） 合同協議会事業 全体では20,000千円強の予算額を見込んでいる。
豊房線の再編 買い物シャトルサービスの実証 【主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築】 南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業	豊房神余地区では、バスが通っている県道から外れた集落が多く存在するため、日中に集落を巡るコースでシャトル便を設定し、拠点商業施設等（市街地循環バスと乗継可能な場所）まで送迎するサービスを実証する。合わせて、白浜地区の長尾橋周辺（割烹旅館清都がある海岸沿いの集落など）も運行範囲に含め、既存路線が利用できない人がどれくらいいるか等を把握する。 【運行計画案】 ・期間：R4.10～R5.3の半年間 ・運行エリア：長尾橋周辺～豊房神余地区各集落～館山市内（商業施設等拠点となる場所まで運行） 運行ルートを2パターン設定する ・運行形態：定時定路線型又はフルデマンド型 ・運行曜日：各パターン週2日 週4日 ・運用台数：1台予定 ・車両：ハイエース（11人乗り）以下を予定 ・委託先：タクシー事業者を予定	施策の方向性4：地域が関わる新たな交通システムの導入 住民ニーズに応じた豊房線再編見直しの実施	
富崎ぐるっとバス本格運行 【主な公共交通空白地域における地域主体の交通システムの構築】	富崎地区で、住民等からなる「公共交通/便利な乗り物を考える会」が結成され、令和3年度にグリーンスローモビリティを用いた「富崎ぐるっとバス」の実証運行が行われたが、実証終了後の住民アンケート調査や布良地区火事の後に会のメンバーがボランティアで続けている買い物輸送の中でニーズが確認されたため、総務省の「集落支援員」制度を活用し、地域住民主体の本格運行を行う。 【事業概要】 ・実施形態：「公共交通/便利な乗り物を考える会」会長に対し、市から集落支援員を委嘱し、ぐるっとバスの運行（週1～2回）のほか、見守り活動など、高齢者等が安心して暮らせる地域づくりに資する活動に取り組んでいただくこととする。 ・車両：原則、地区内に設置された「TOYOTA SHARE」のシェアカーを使用する。 ・コース：富崎地区（布良・相浜）とおどや大神宮店やコメリ大神宮店を結ぶコースとする。 ・運賃：無料 ・運行主体：公共交通/便利な乗り物を考える会	施策の方向性4：地域が関わる新たな交通システムの導入 ラストワンマイル対策のための新モビリティ導入検討	4,300

その他、公共交通関連予算として、市内の各バス路線運行に対する補助金52,857千円を要求している。